

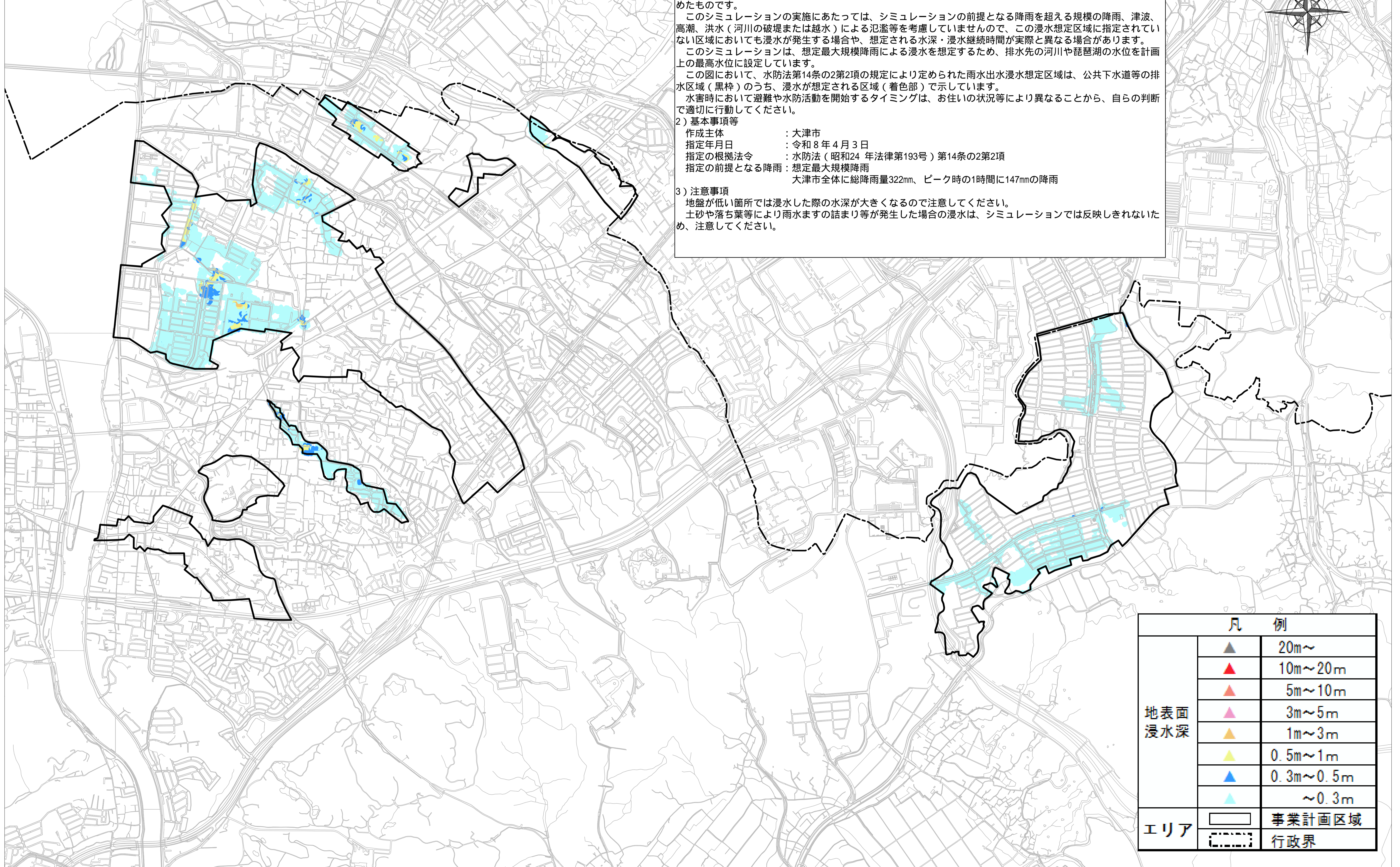
大津市 雨水出水浸水想定区域図

【想定最大規模降雨】

1) 説明文
 この図は、近年の大雨であった平成24年8月に観測した豪雨の約1.9倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。
 この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
 この区域は、指定時点の大津市の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量147mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
 このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川や琵琶湖の水位を計画上の最高水位に設定しています。
 この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（黒枠）のうち、浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2) 基本事項等
 作成主体 : 大津市
 指定年月日 : 令和8年4月3日
 指定の根拠法令 : 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
 指定の前提となる降雨 : 想定最大規模降雨
 大津市全体に総降雨量322mm、ピーク時の1時間に147mmの降雨

3) 注意事項
 地盤が低い箇所では浸水した際の水深が大きくなるので注意してください。
 土砂や落ち葉等により雨水ますの詰まり等が発生した場合の浸水は、シミュレーションでは反映しきれないため、注意してください。



凡 例	
地表面 浸水深	▲ 20m~
	▲ 10m~20m
	▲ 5m~10m
	▲ 3m~5m
	▲ 1m~3m
	▲ 0.5m~1m
	▲ 0.3m~0.5m
	▲ ~0.3m
エリア	▭ 事業計画区域
	⋯ 行政界